

政策コメンテーター報告(第4回)(意見照会期間:2015年8月18日~8月28日):森 民夫 新潟県長岡市長

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	<p>2015年8月下旬から9月上旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2015年5月下旬から6月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。なお、政府の景気認識については月例経済報告の中でお示ししているのをご参照ください。</p>	良くなっている	<p>直近の調査によると、県内企業の景況感は2014年7~9月期を底として徐々に改善しており、消費税率引き上げに伴う影響が薄れ、今後も改善していくと伺っている。2015年度の設備投資は、製造業、非製造業ともに前年度の大規模投資の反動から下回る計画となっているが、今年6月の建築着工床面積(非居住用)は前年を上回っており、増加してきている。また、今年6月の百貨店・スーパー売上高は、食料品は前年を上回った一方で、衣料品は前年を下回っているが、全体としては、持ち直していると言われている。6月の乗用車の新車販売・届け出台数は、前年を下回ったものの、基調としては持ち直しつつある。これらのことから個人消費は持ち直していると思われる。企業の景況感や、設備投資・個人消費の動向を勘案すると県内の景気は緩やかに回復していると考えられる。</p>
デフレ脱却・経済再生を確実にするための取組			
2-1	<p>(別紙5)の1.(1)のとおり、経済財政諮問会議ではデフレからの脱却、経済の好循環の拡大に向けた取組を進めていくこととしておりますが、現場の実情や地域の視点から特に強化・加速すべきとお考えになる取組について具体的なご意見がございましたら300字以内でご記入ください。</p>	-	特になし
2-2	<p>また、(別紙5)の1.(2)のとおり、経済財政諮問会議では我が国経済の潜在的な成長力の強化について取組を進めていくこととしておりますが、現場の実情や地域の視点から特に強化・加速すべきとお考えになる取組について具体的なご意見がございましたら300字以内でご記入をお願いいたします。</p>	-	<p>現在、地方自治体は地方版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定中で、地域資源を活用した潜在成長力の強化に取り組んでいるところである。国全体の潜在的な成長力の強化のためには、地方の潜在的な成長力の強化が不可欠と考える。したがって、以下のような記述の追加を求めたい。「潜在的な成長力を我が国全体で強化することが必要であり、全国津々浦々で自主性と主体性を持って地域経済の活性化に取り組むことができるよう、地方創生の取り組みを中長期的に継続して支援する。」</p>